

県ふれ愛募金 2団体に26万

山形で贈呈式

県ふれ愛募金会連合会(大風茂吉会長)の第十六回「ふれ愛募金の贈呈式」が二十日、山形市の大手門パルズで行われ、二団体に二十六万円が贈られた。

一九九二年に連合山形、県労働者福祉協議会、東北労働金庫県本部が地域還元福祉口座「ふれ愛預金」制度を創設。利息の一部を募り、労働金庫からの寄付金と合わせ、県内の障害者施設や福祉施設に贈っている。今回は二百六十万

円が集まった。

この日は連合会側からの贈呈分として、県内の筋萎縮(いしゅく)性側索硬化症(ALS)の患者や家族などにつく



る日本ALS協会県支部(草苅泰旺支部長)と、県障害者スポーツ指導者協議会(市川豊一会長)の二団体に十三万円ずつを贈った。二団体の代

表は「心より感謝します。有効に使わせていただきます」と謝意を述べた。今後、県内十二地区の募金会を通し、各地域の団体への寄付金の贈呈が行われる。

県ふれ愛募金会連合会が2団体に寄付金を贈った。山形市・大手門パルズ